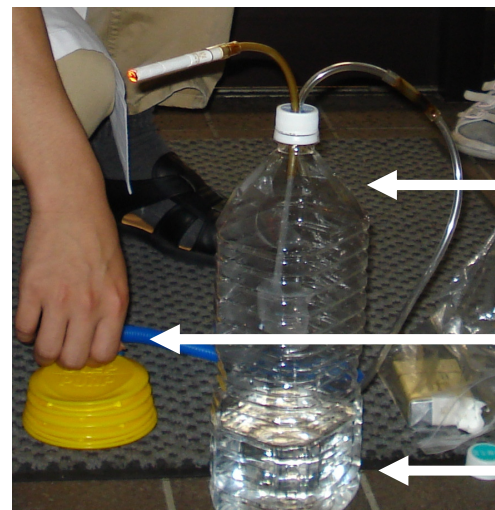


実験道具の使い方



発明者: 越前禁煙友愛会
副会長 土田雅道先生



屋外でフットポンプを使ってタバコ煙をペットボトルにためます
(受動喫煙低減のため風向き注意)

青いチューブを赤の接続口に接続

水を入れておきます



1本のタバコでこのような状態にします。
これに煙がもれないように、ふたをして講演会場に持ち込みます。
(約10分でほとんど溶けますので、あまり早く準備するとこのモクモクした状態を聴衆に見せることができません)

10分程度でタバコ煙は溶けてしまいました



色と臭いを聴衆に感じてもらってください。この水に釣具店で購入したミミズを入れるのも一法です。